

## ●里山農園の土地所有者を調べに法務局まで行きました。

里山農園や奥の山の所有者がわかるかと宇治の法務局まで行ってきました。法務局ではまず地図を閲覧して、地番（番地）を調べ、その地番の所有者を調べることになります。地番の入った1/500の公図は450円で購入できます。（購入せずに閲覧だけで地番を知ることも可能です。）ここから地番を調べて登記事項証明書を購入します。しかし現在の所有者を知るための登記事項要約書だけでも、1筆につき450円必要になります。里山農園のイノシシ柵の中だけでも30筆以上あるので結構な高額になります。しかし現在では地番がわかっているならば、インターネットの「登記情報提供サービス」を使うと、1筆につき142円で所有者を調べることができ、また地番の入った地図も362円でPDFファイルとして入手できます。今後、必要な所有者の情報はこれを使って調べられます。試しに、このサービスを使って2カ所ほど所有者を調べてみました。里山農園近くの山と奥の池を調べましたが、両方とも近鉄不動産になっていました。やはり農園近くの山は近鉄不動産の所有となっているようです。

## ●炭焼きの際に伐採した農園のコナラの枝を粉砕機で粉砕しました。

コナラの枝を粉砕してカブトムシの幼虫の寝床にしたいと思い、6月1日に知人から粉砕機（100万円という高額のもの）を借りてきて農園で作業しました。この粉砕機は直径10cmほどの竹や木を粉砕できる機械で、ゴムクローラが付いていて自走可能です。順調に作業ができていましたが、直径10cmほどの湿った木を入れたら吹き出し口が詰まって少々手こずりました。

でも、その後は順調に作業が進み、土曜日の午前中だけで残っていた枝を全部粉砕することができました。この粉砕した木屑を適当な場所に置き、カブトムシの幼虫の寝床にしたいと思っています。

よい腐葉土になればここに産卵します。しかし今年は新しすぎてどうなるのか注目してみます。どなたか観察記録をお願いします。

## ●6月9日(日)春の植物観察会を開催いたします。

5月末まで枚方市や京都市山科から5名の参加申込みがありました。まだ少し余裕がありますのでぜひご参加ください。

28年前に有志で里山の会を発足した折の第一回イベントは京田辺市に事務所があるのだから、街のシンボルとしての甘南備山の植物を対象にした取り組みをしましょう。となり、地元同志社大学の光田重幸先生に相談すると快諾をいただきました。それから今日まで甘南備山周辺は国道道路やごみ焼却場の建設が行われ、すっかり環境が変わりました。今回



### 甘南備山の植物観察

初心者大歓迎

一緒にゆっくり登ってみましょう

甘南備山は211mの高さで京田辺市の最高峰と考えられていますが、実は三番の高さです。里山の会が任意の団体として結成発足した1996年、最初の実践が甘南備山の植物調査でした。タマシズキの高い大木、水晶谷やラクウショウ、そして登山口近くの公園、何よりも登山道が完全に舗装されていることに驚きました。そして光田先生が発見されたタカサゴソウ等の植物の多さふもとの小川にはサギソウやツリフネソウ、そして珍しいカキラン、イワカガミにも出会いました。それから27年が経過しました。どのように変化しているのでしょうか。興味がわいてきます。出来る限り目についた植物を記録しておきましょう。記録すれば名前が覚えられます。令和6年(2024年)の甘南備山の目についた植物記録を残しておきたいものですね。甘南備山登山を目的にしたものでなく道中の出会いを大切にゆっくりとした山登りにしましょうよ、年齢もありません。

6月9日(日)

集合地 京田辺市薪 甘南備山駐車場

新小学校から下の手原川沿いを上手に

集合時間 10時 時間に出席します 時間厳守

解散予定 14時ごろ 現地

持物 弁当 水筒 筆記具 カメラ 杖(必要な方) 敷物(休憩時使用)

服装 帽子 長袖の上着 長ズボン しっかりした靴

参加申し込み fddb257@yahoo.co.jp 記入事項 氏名 住所 年齢 電話

集合地への交通手段

参加費 無料

講師 植物の解説とガイド

前同志社大学准教授

京都府生物多様性センターアドバイザー

光田重幸 氏



主催 特定非営利活動法人 やましろ里山の会 事務所 京田辺市田辺深田15

電話: 0774-64-4183

メール fddb257@yahoo.co.jp

植物担当 伊藤

も光田先生にご指導をお願いしておりますので、面白い取組みになるのではないかと期待しています。多くの皆さんのご参加をお願い致します。

### ●6月8(土)9:30～ 玉ねぎの収穫を行います。

昨年12月19日に植え付けた玉ねぎの収穫を行います。これまでは1000株の苗を植えてきましたが、今回は300本としましたので少々収穫は減少します。京田辺市の玉ねぎの農家の皆さんは不作の年になっていて、大きな実りは期待できない。とおっしゃっていましたが、里山農園でも実際その通りになりました。自然環境の変化が影響してきているのではないのでしょうか。暑さ、寒さ、雨の降り加減などの影響があったのではないのでしょうか。昨年のように大玉には成長できていないようですが、収穫にぜひご参加ください。1kg当たり200円でお持ち帰りいただけます。

### ●会員の田中元洋さんによって尾根筋ハイキングコースの全コースがフェイスブックに掲載されました。

田中さんは近隣の山を休日を利用して殆ど踏破をされました。また得意の作画技術を生かして紙芝居サークルを運営し、多くの子どもたちに楽しいひと時を提供するなどの活動をされておられる方です。今回掲載された右の画像は非常にわかりやすくなっていますので、紹介させていただきました。



### ●ハンマーモアのデモンストレーション 寝屋川水辺クラブからの草刈り機の講習会の要請がありました。

里山の会が木津川での活動を始めようとしている時期、すでに淀川本川の点野地域と寝屋川での活動を摂南大学の澤井先生と一歩先に活動を始めていた寝屋川水辺クラブが河川レンジャー活動をけん引されていました。私たちは大いに学ばさせていただき大変お世話になりました。その後本川の点野付近での活動を展開し、この都度、施設を国交省が改善し、その管理地の除草を自主的に行ってこられましたが、高齢化と体力の衰えから動力の除草機に頼らなければならないようになり、やましる里山の会が除草活動を行っている道具(ハンマーモア)のデモンストレーションを行っていただけないか。との相談が上田豪さんからありました。事務局会議では、6月9日の土曜日の午後、太田理事と有田理事が行きましようとの返答がありました。私たち里山の会が国交省との関係を今の段階にまでに前進するために凄いい応援をお願いしてきました。お二人には多忙な折、お世話になりますがよろしくお願い致します。



### ●今年もホテルの夕べと里山音楽会を6月15日(土)開催致します

京田辺市内ではあちこちでホテルが出会えるところがあるようにお聞きいたします。自然豊かな町であることではないのでしょうか。特に里山農園付近では活動を始めた頃(1996年)にはホテルが人工的な手を加える事もなく、自然界のままで飛翔し続けていたので、夏のひと時を楽しませてくれました。昨年大変好評でした沖縄三味線バンド「キジムー」さんに今年も演奏をお願いしています。夕方ホテルが出てくれるまでの間に、白土山の遊歩道探検や誰でも作れる「竹細工」、そしてホテルのことを深く知ることのできる「ホテルクイズ」などを考えています。参加費は無料で50人程度を受け入れる予定です。夕食の弁当持参でお願いします。まもなくホームページにて、準備が整い次第受付を開始いたします。

